



地域に根付く伝統野菜を食す 畔藤キュウリでのり巻き作り

ひがしね保育園では7月14日、町の伝統野菜である「畔藤キュウリ」を使ったのり巻きづくりが行われました。

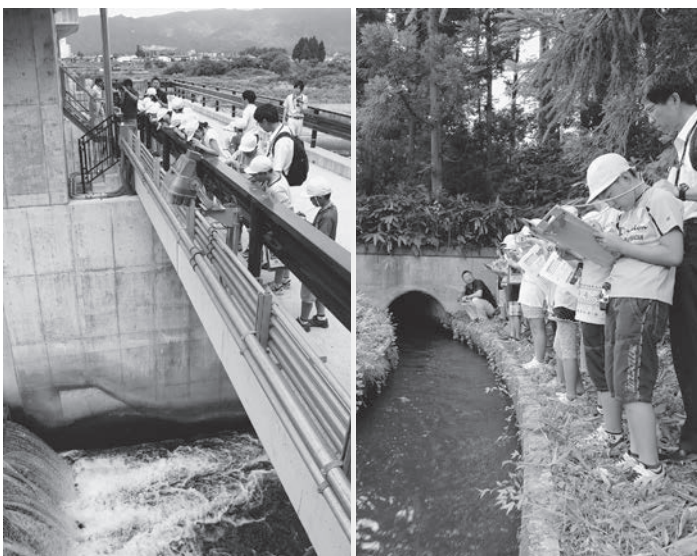
畔藤キュウリは、従来のキュウリと比べると約1.5倍大きく、いぼが黒いのが特徴。この日用意されたのは、畔藤キュウリ種子保存会会長である新野惣司さん（広野）から苗をいただき、農協青年部の方の協力を得て園児たちが育てたもの。園児たちは、はしを上手に使ってキュウリをご飯の上に乗せると、くるくると巻いて「うまくなってきた!」と満足げな表情を見せました。生産者の数こそ減っている畔藤キュウリですが、地域に残る伝統野菜はこのようにして後世へと伝えられています。



四季の郷駅夏の感謝祭 地域でつくる「七夕飾りまつり」

四季の郷駅夏の感謝祭「七夕飾りまつり」（四季の郷駅で楽しむ会主催）は7月2日、色とりどりの七夕飾りで彩られた四季の郷駅で開かれました。

5回目の開催となる今年は、駅周辺の福祉施設や企業など10団体が出店。特設ステージでは、白鷹太鼓鷹翔会の演舞や、赤坂のカイアマ智子さんの歌が披露され、祭りをさらに盛り上げました。また、7月1日にデビューしたばかりの山形鉄道フラワー長井線紅花ラッピング列車も駅に到着し、会場に華をそえました。



町内小学校で水利施設見学会 田んぼに水が入るまでを学ぶ

町土地改良区の主催による水利施設見学会が、7月11日に蚕桑小学校で、7月22日に東根小学校で行われました。

東根小学校では、4年生15人が長井市にある諏訪堰頭首工から見学をスタート。一人ひとりがカメラで写真を撮り、メモをとりながら施設の役割や歴史を学びました。また、今回は初めて児童の保護者も見学会に参加。参加した保護者からは「大人でも知らないことを、子どもたちと一緒に勉強できる良い機会だった」と好評。親子での施設見学会は、来年度以降も引き続き行われる予定です。